

# ご近所のお医者さん

□  
683  
□

中尾医院長 **中尾正俊さん** 一大阪市東淀川区

## 情報提供の重要性痛感

大阪府医師会長に20日、就任いたしました。府医師会は地域医療を推進し、皆さまの健康・福祉の増進につながるよう取り組んでいます。私も先達にならい、皆さまが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう医療面から支えていきたいと思

つています。

現在、高

齢化の進展

や生産年齢人口の減少に加えて、円安、物価の高騰など、数年前からは考えられないくらいに社会情勢が変化しています。医療界においても4月、医師の

働き方改革が始まりました。医師の時間外労働の上限が決められることになりました。従前より勤務医の過重労働が問題となっており、労働環境が改善されることで医療の質が向上すると期待される一方で、救急医療をはじめとす

## 会員一丸命と健康守る

事者は懸命に使命を果たしました。情報を整理し、いち早く医療者に伝えることが医師会に求められ、吉村洋文知事、行政とも総力を挙げて取り組みました。この時、いかにして迅速に情報を伝えるのか、また専門家集団として国民に正確な情報を届けられるのかという課題に直面しました。改めて情報提供の重要性を痛感したところです。

今後、第

8次府医療  
計画、第4  
次府健康増  
進計画など

る地域医療への影響が懸念されます。またスタートしたばかりであり、どのような効果もたらされるのかを注視していかなければなりません。

私は医師会の役員を18年務めています。その中で忘れられないのは約4年にわたって猛威を振った新型コロナウイルス感染症です。初期のころは未知のウイルスであり、治療法も分かりませんでした。危険性も高く、医療従

に基づき、医療を取り巻く環境が大きく変わっていきます。どのような状況にあっても、地域の実情に応じた医療提供体制を維持することが大切です。適切に情報を共有しながら、府医師会員1万7000人が一丸となって皆さまの命と健康を守っていきたくと考えています。これからも医師会の活動へご支援ください。

(府医師会長)

